

授業科目

作業療法学特論

担当教員名 能登 真一、大山 峰生、永井 洋一、今西 里佳、能村 友紀	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

各専門分野の領域・対象・評価・介入方法を通して、QOL向上のための作業療法について学際的視点から理解する。

授業の目的

本講義の目的は、リハビリテーションにおける作業療法独自の役割や効果に気づくことで、その意義や今後の発展性を議論することにある。

学習目標

1. 作業療法のエビデンスに気付くことができる。
2. 作業療法のアウトカム研究について、具体的に説明することができる。
3. 人間作業モデルおよび作業科学について概略を説明できる。
4. 内部障害に対する評価、指導、援助について説明することができる。
5. 地域高齢者に対する評価、指導、援助について説明することができる。
6. ハンドセラピー領域の治療、指導、援助について説明することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	作業療法のエビデンス	講義・討論	能登 真一
2	作業療法のアウトカム研究1	講義・討論	能登 真一
3	作業療法のアウトカム研究2	講義・討論	能登 真一
4	人間作業モデルの考え方	講義・討論	永井 洋一
5	作業科学の基礎	講義・討論	永井 洋一
6	作業療法の世界の潮流（まとめ）	講義・討論	永井 洋一
7	内部障害に対する評価、指導、援助1	講義・討論	今西 里佳
8	内部障害に対する評価、指導、援助2	講義・討論	今西 里佳
9	内部障害に対する評価、指導、援助3	講義・討論	今西 里佳
10	高齢障害者に対する評価、指導、援助1	講義・討論	能村 友紀
11	高齢障害者に対する評価、指導、援助2	講義・討論	能村 友紀
12	高齢障害者に対する評価、指導、援助3	講義・討論	能村 友紀
13	手外科領域における最新の治療・指導・援助1	講義・討論	大山 峰生
14	手外科領域における最新の治療・指導・援助2	講義・討論	大山 峰生
15	手外科領域における最新の治療・指導・援助3	講義・討論	大山 峰生

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	人間作業モデル（第4版）	Kielhofner, G.	協同医書出版	2013年	8,500円＋税	
	作業科学～作業的存在としての人間の研究	Zemke, R., Clark, F.	三輪書店	1999年	9,500円＋税	
その他の資料						

評価方法

領域によってレポートの提出
討議

履修上の留意点

各教員が個別にレポート提出を指示することがある

オフィスアワー・連絡先

能登 真一：noto@nuhw.ac.jp
 大山 峰生：oyama@nuhw.ac.jp
 今西 里佳：imanishi@nuhw.ac.jp
 永井 洋一：第2講義棟Q307, 原則としてアポイントメントを取って下さい, nagai@nuhw.ac.jp
 能村 友紀：nomura@nuhw.ac.jp